

## 支部だより

## 支部展特集

また、来年はいつ頃開催するのですか？参加するにはどうすればよいのですか等と、嬉しい声もありました。

最終日には、来館して頂いた土屋委員との鑑賞会となり、巧みな描写と表現力等沢山の教訓を得ました。この二時間は瞬間に過ぎ、三〇分位にししか感じられない程に楽しく、そして大いに勉強になりました。

皆、本展に向けて抱負を語り合いながら、支部展を無事に終えて帰路につきました。私は、展覧会を行う達成感を覚え、皆様お疲れ様でした。

## 神奈川支部展盛況裏に

支部長 高岩 正男

第四〇回新日美神奈川支部展を、平成最後の四月三〇日から令和元年五月五日までの六日間、アートガーデンかわさきで開催しました。今年には会員一六名による絵画三五点(油彩、水彩、アクリル、パステル)が出展されました。四〇回の節目となる支部展であり、読売新聞に支部展案内を掲載してもらったのですが、来場者は一〇連休のあおりに

受け、例年を下回りました(三四七名)。

初日は、飾付など準備完了後、会計報告、諸連絡を行い、オープン。三時から、恒例の芳賀先生(外部審査員)による講評が行われ、会員一人ひとりに対し懇切丁寧なご指導を頂き、会員も熱心に質問していました。その夜は、近所の居酒屋で懇親会を開催し、一年ぶりに皆で楽しく歓談しました。

今年も、会場は懐かしい顔と再会の場となり、また、ご来場の方には力作ぞろいの充実した展示内容にご満足頂けたものと思っています。支部展を支えて頂いた会員の皆さんに感謝です。

最後に、森屋代表、支部長の方々はじめ多くの方にご来場頂き、誠にありがとうございました。



飾り付けを完了、期待を胸に

## 埼玉西支部展を終えて

支部長 高木 登

新日美埼玉西支部展は今年も川越市立図書館を会場として、五月六日から一二日まで開催しました。川越市や川越市教育委員会、川越美術協会の後援もいただき盛大に開催することができました。

会場には会員の力作、八七点が展示され、一〇〇サイズの作品をはじめとして大作の出品が多いことも支部展の一つの特徴です。会期中四〇〇名を超えるたくさんの皆様に見ていただくことができました。会場内に感想を書くコーナーを毎年つくっていますが、見ていただいた皆様から心温まる励ましの感想をたくさんいただき励みになってます。

五月一日には芳賀文治先生による作品講評会を開催し、先生から全員の作品に心温まるご指導をいただき、たいへん勉強になるよいひとときとなりました。わかりやすくていねいな話で自分の作品についてはもちろんのこと、他の会員の作品への批評からも学ぶことの多い講習会でした。

会期中、遠路たくさんの皆様にお越しいただきご指導を賜ることができありがとうございました。

## 埼玉東支部展の報告

支部員 石村 空也

日本中が固唾をのんで注目していた新たな元号が「令和」に決まった。「明るい良い年になつてほしい」「平和な時代にありがとう」三〇年続いた平成への感謝が列島各地に広がった。

そんな中、第三八回支部展が五月一四日〜一九日まで、春日部中央公民館で開催された。ギャラリーは、天井高で五m。壁面の長さは通路を含めると七〇m。出品点数七四点。その他、地元高校から、生徒の応募作品一



芳賀文治先生を囲んで